

冬の防災特集

冬の災害に備えて

近年、冬季の異常気象により近隣の町や津別町内でも人命に関わる被害や事故が相次いでいます。決して他人事にせず、冬の災害への備えと、いざというときの対処方法について知識を深めましょう。

《ご家庭での備えと心がけ》

- ・気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは外出を避けましょう。
- ・停電に備えて懐中電灯、携帯ラジオ、電気を使わない暖房器具などの準備をおきましょう。
- ・F式暖房機の給排気口が雪でふさがれないよう確認しましょう。
- ・外出できない状況に備えて食糧や飲料水などを備蓄しておきましょう。
- ・屋根への積雪は、落雪によるけがや事故、避難経路の断絶などを招くおそれがあります。また、冬季に地震が発生すると、家屋倒壊の要因にもなります。屋根の積雪は取り除くようにしましょう。
- ・暴風雪の中を除雪車両や緊急車両が往來することがあります。目立つ服装であっても非常に危険を伴いますので、視界が悪いときの外出は避けましょう。

《やむを得ず車で外出するとき》

- ・道路状況に応じた無理のない運転を心掛けましょう。
- ・冬期間は天気の急変で車が立ち往生する可能性があるため、防寒着、長靴、手袋、スコップ、スノーヘルパー、牽引ロープなどを車に常備しておきましょう。

- ・十分に燃料があることを確認するとともに、万一に備えて飲料水や非常食を用意しましょう。
- ・危険を感じたら、無理をせず最寄りの「道の駅」や「コンビニエンスストア」「ガソリンスタンド」などで天気の回復を待ちましょう。
- ・天候の状況によっては「避難所」が開設されます。天候の悪化が予測されるときは「避難所」を利用してください。

《吹雪で車が動けなくなったとき》

- ・大雪や吹きだまりなどにより車が立ち往生した時は、道路緊急ダイヤル（短縮ダイヤル#9910）やJAFなどのロードサービス、近くの人家などに救助を依頼してください。また、ハザードランプを点灯させ車が目立つようしてください。
- ・避難できる場所や救助を求められる人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡してください。
- ・エンジンは切る。マフラーが雪に埋まると、排気ガスの逆流で一酸化炭素中毒の危険性があります。やむを得ずエンジンをかけるときは、マフラーの周りをこまめに除雪し、窓を少し開けて換気を行ってください。
- ・車を置いて避難するときは、除雪や救助活動の妨げとならないよう、連絡先を書いたメモなどを目立つところに置き、車の鍵は付けたままにしてください。



▲平成22年1月の大雪の様子

《警報が発表されたら注意を》

- 暴風雪警報**
平均風速がおおむね20メートルを超える暴風雪（地吹雪）によって、重大な災害が発生するおそれがあると予想された際に発表されます。
- 暴風雪特別警報**
数十年に一度の強さの低気圧により、風速が30〜40メートル以上にもなる暴風と雪で甚大な被害が生じることが想定される場合に発表されます。

■大雪特別警報

数十年に一度の積雪がある状態で、さらにまとまった降雪があると予測される場合に発表されます。

問い合わせ先

総務課庶務係
☎76-2151（内線208）

地方創生の取り組み 26

情報収集と、その正しい理解と活用を

アンテナを高く張り、より多くの情報を集め、良いところを取り入れていく。行政が進める「まちづくり」によく用いる手段ですが、よその成功事例の真似をすれば何とかなると考えてしまいがちです。成功事例から学ぶことは、悪いことではありませんが、問題はどのような環境で、どのような経過を経て成功に至ったかを学んでいるかです。不確実な未来を望ましい未来にするため、可能な限り、今ある情報から学ぶ。つまりは、高いアンテナと地道な努力を怠ってはならないということですね。

北海道型ワーケーション導入検討・実証事業を実施しました

総務省の新たな試みとして、北海道と（二社）日本テレワーク協会、当町を含む道内16市町村が連携した試験的実証事業が11月13日に実施されました。

津別町には、5企業6名が来町し、限られた時間の中ではありましたが町内施設の視察や自然体験、コワーキングスペース「ジンパ」でのテレワークなどを通じて、津別でのワーケーションの可能性について検証しました。参加者の方の反応は上々で、感想では今後に向けた提案もいただくなど、導入について大きな可能性を感じた実証事業でした。

HALCC（北海道大学の学生団体）との連携事業について

HALCCとの高大連携事業の一つとして、津別高校生による若者議会事業を実施しています。

この事業は、津別町における現状と問題を把握し、改善に向けた方策などについて高校生が自ら考え、グループワーク形式で議論する事業で、10月19日から2日間の日程で、北海道大学内にて大学講師より講義を受け、構内施設の見学を通じて「大学」を知ってもらい、グループワークを実施しました。参加した生徒全員が各行程に対し真剣に取り組むなど、充実した様子が見受けられ、成長を感じられた2日間でした。

北海道型ワーケーション詳細
<https://www.hokkaido-workation.com/>



QRコードが読み込める機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。



▲産業まつり出店準備の様子

《津別町空家バンクの利用状況》

・登録物件数

建 物	貸したい	4件
	売りたい	13件
土 地	貸したい	0件
	売りたい	13件

・物件を探している登録者数

建 物	借りたい	17名
	買いたい	19名
土 地	借りたい	0名
	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.tsubetsu-estate.com/>

【問い合わせ先】

北海道つべつまちづくり株式会社
移住・定住サポートデスク ☎77-6081

気になる用語説明

- ⑮【ワーケーション】
ワーケーションとは、仕事(work)と休暇(vacation)を組み合わせた造語。休暇中に旅行先や帰省先で仕事をすることを指し、テレワークで働き方改革を推進する企業を中心に広まりつつあり、長期休暇を取りやすくなるのが期待される。

⑯【テレワーク】

勤労形態の一種で、情報通信技術(ICT)を活用し時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く形態をいう。

問い合わせ先

住民企画課地方創生係
☎76-2151（内線241）

e-mail:

tsubetsu.sousei@gmail.com